

未塗装品の塗装作業について

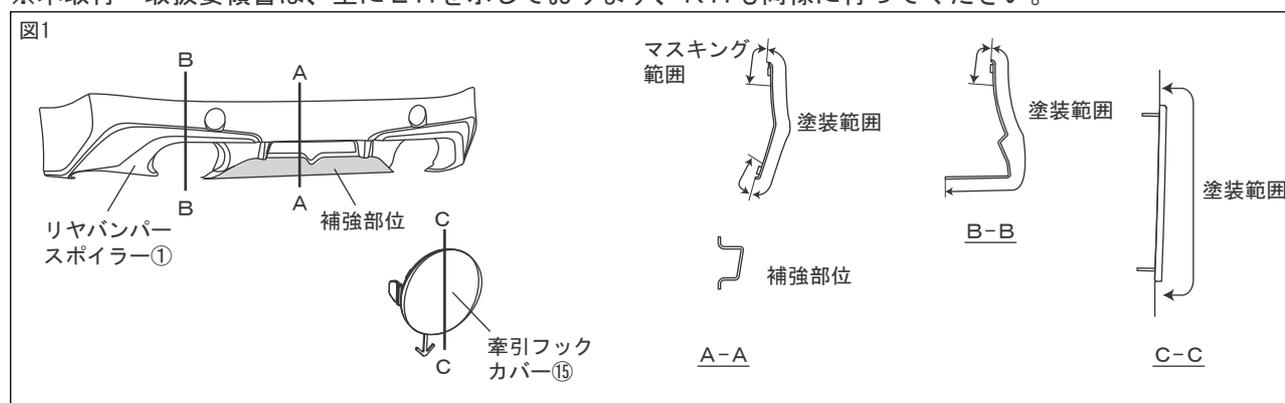
- ❶ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❷ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❸ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS313-18002-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

□リヤバンパースポイラーの塗装

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



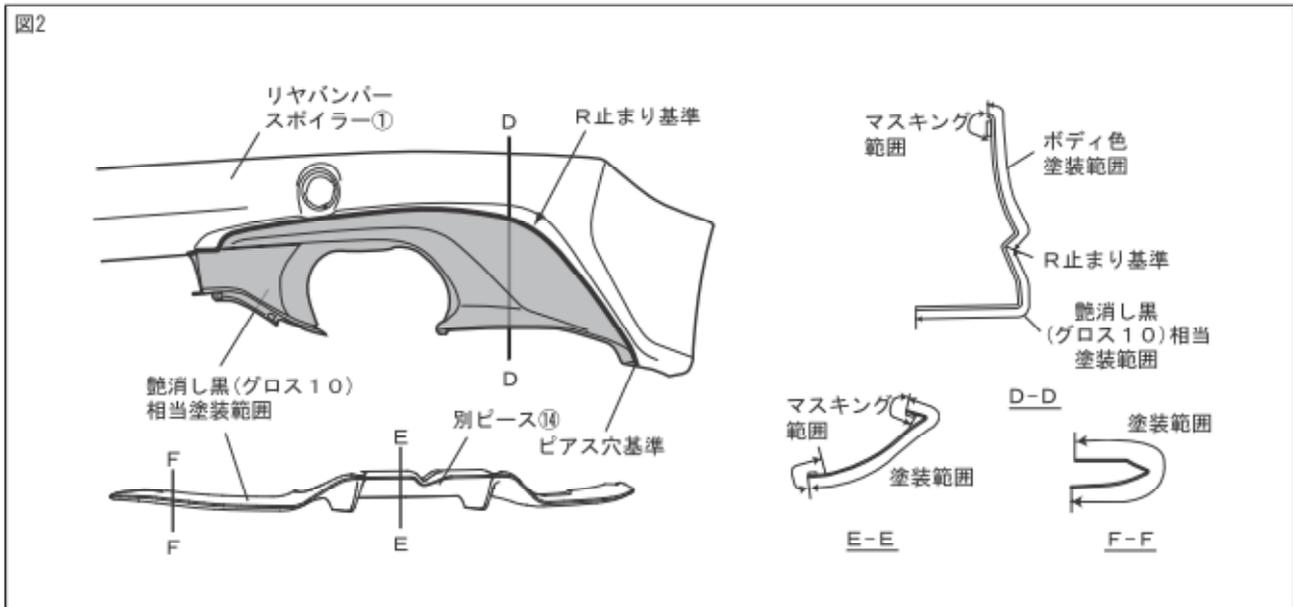
1. 図1のようにリヤバンパースポイラー①と牽引フックカバー⑮をボディ色で塗装する。

⚠ 注意：補強部位は塗装が終わるまで絶対に取り外さないでください。製品に変形や割れが発生する恐れがあります。

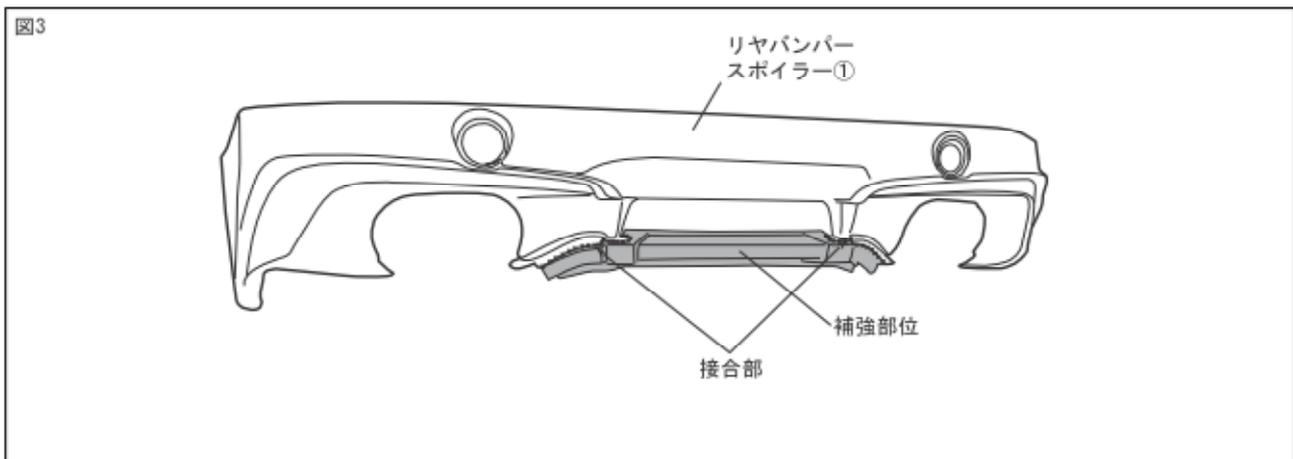
⚠ 注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

⚠ 注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

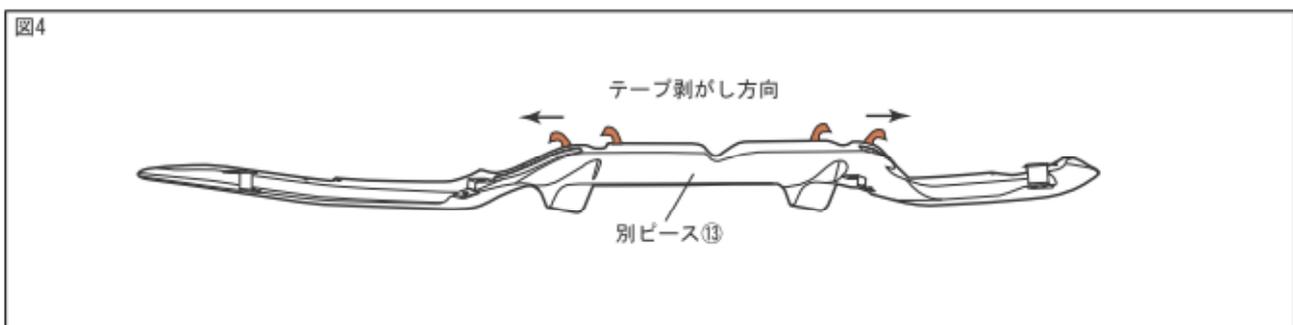
⚠ 注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。



2. 図2のように別ピース⑬とリアバンパースポイラー①を抜きマスキングテープとマスキングテープでマスキングし、艶消し黒(グロス10)相当で塗装する。

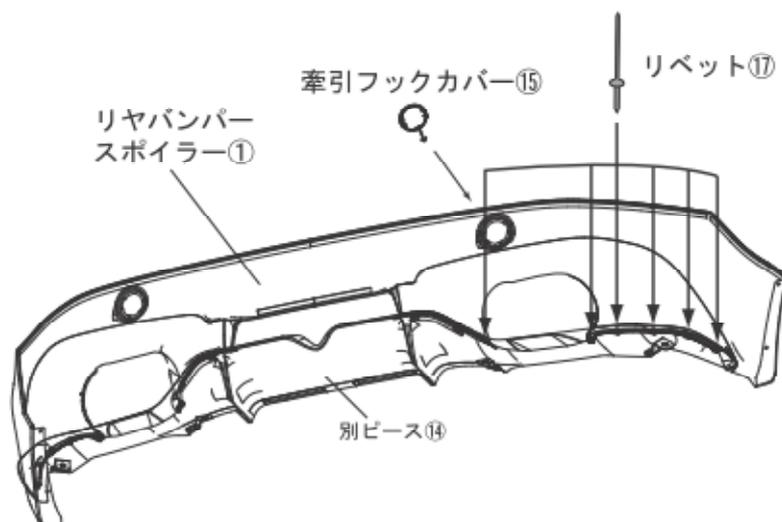


3. 図3のようにリアバンパースポイラー①の補強部位を取り外す。



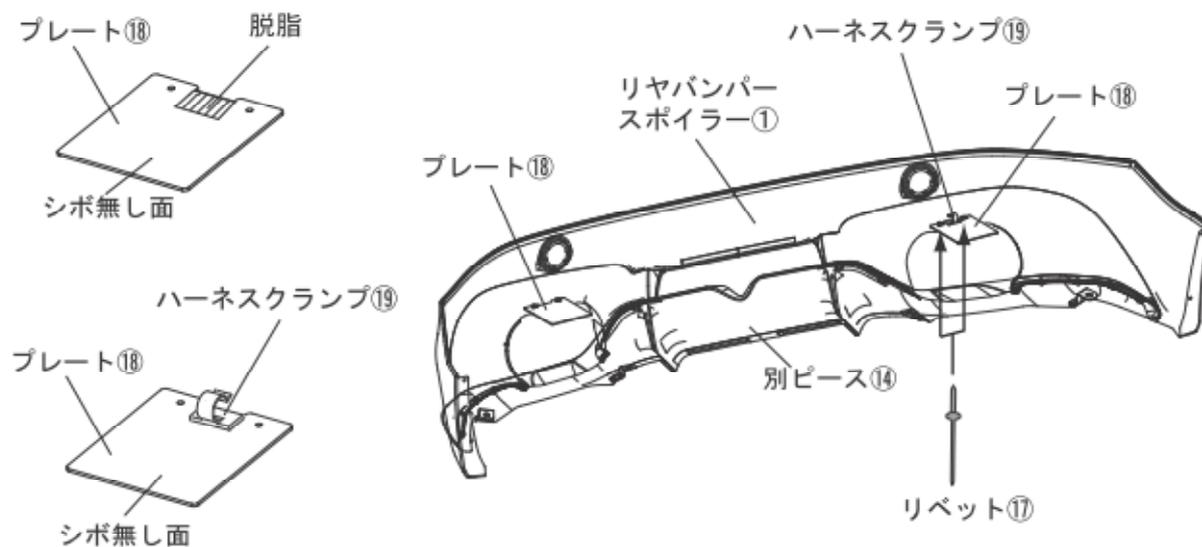
4. 図4のように別ピース⑬の彫形紙を約30mm剥がす。

図5

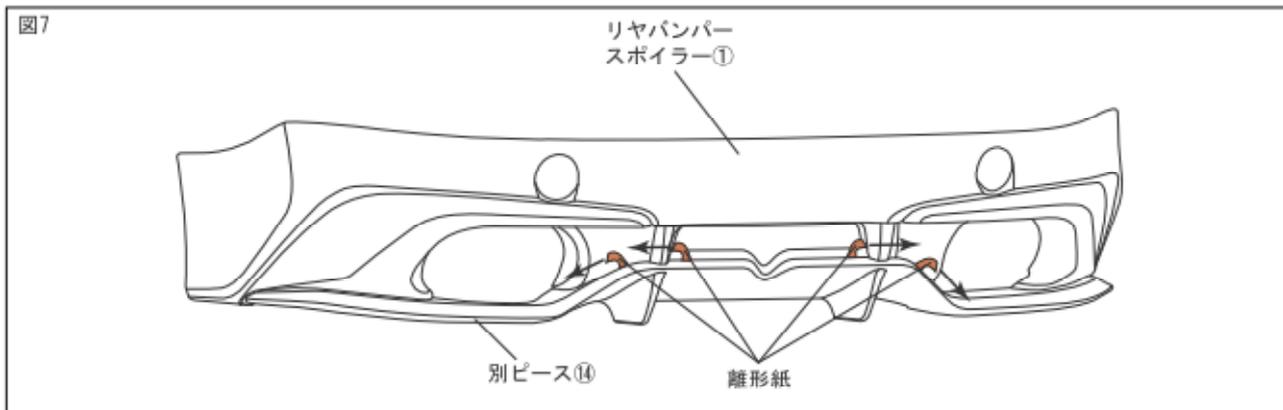


5. 図5のように別ピース⑭をリヤバンパースポイラー①にセットし、リベット⑰で固定する。
(左右各6ヶ所)
6. 図5のように牽引フックカバー⑮をリヤバンパースポイラー①に取付ける。
(左右各1ヶ所)

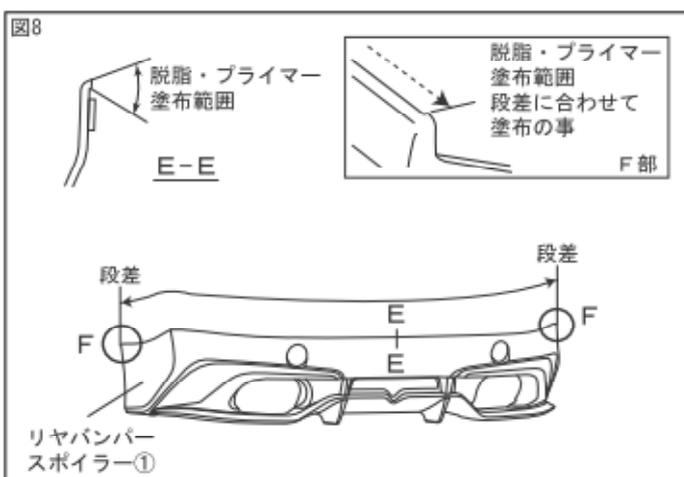
図6



7. 図6のようにプレート⑱の  部を脱脂する。
8. 図6のようにプレート⑱にハーネスクランプ⑲を貼り付ける。
9. 図6のようにプレート⑱をリベット⑰で固定する。(左右各2ヶ所)
※ハーネスクランプ⑲付は左側、無しは右側に組み付け。



10. 図7のように別ピース⑭の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け【49N(5kgf)以上】圧着する。(左右各2ヶ所)



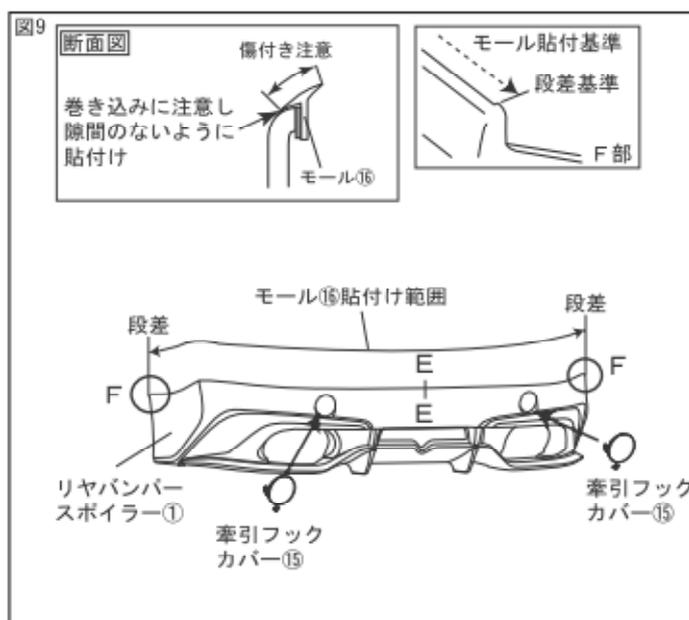
□モールの貼付け

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 図8のようにモール貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500⑳を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

🔧アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



2. 図9のようにリアバンパースポイラー①に、モール⑯の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け【49N(5kgf)以上】圧着する。モール⑯は長めに設定されているので、長さに合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意：モール⑯は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼付けてください。

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

3. 図9のようにリアバンパースポイラー①に、塗装した牽引フックカバー⑮の脱落防止用ストラップを差し込みながら取付ける。